

東京横浜独逸学園

校門を入るとすぐに見えてくる大きな赤い傘。そんなシンボルのあるドイツ学園には、私たちが通う学校とは違うところがたくさんあります。まず、校舎や校内が広く、幼稚園から高校までがこの中にあります。

カラフルでおしゃれな校舎。まるで映画館のようなイスの理科室、幼稚園の「D」のような形をしたテーブル、すごく楽しそうなデザインばかりでした。食堂はビュッフェスタイルで、カフェとしても利用できます。

私たちが驚いたのは「お休みできる部屋」です。ソファが置いてあって、読書などをしてゆっくりと過ごすことができるそうです。こんな場所があったらずっと居てしまいたいそうです。



ドイツ人の職員さんにもインタビューしました。都筑区はドイツと同じように緑がたくさんあって、くらしやすいそうです。ドイツ語のあいさつを教わり、最後に「チューズ！（さよなら）」とあいさつをしました。(2014.7.16取材)

IKEA 港北

「家が世界で一番大切な場所」それがIKEAのコンセプトです。

スウェーデン生まれのIKEAは、シンプルなデザインの家具や生活用品を世界中の300店で提供していて、その品目は9500にのぼります。いい品質の製品を組み立て前の状態で販売してコストを減らし、コンパクトに運んで環境も配慮し

ているそうです。

IKEAには13カ国もの従業員がいます。働く人はみんな愛称で呼び合い、会社をよくするために考えた意見を自由に言える雰囲気があります。また、子どもが病気の時は周りの人が助けてくれるなど、女性が働きやすい職場です。



カラフルでおしゃれな校舎。まるで映画館のようなイスの理科室、幼稚園の「D」のような形をしたテーブル、すごく楽しそうなデザインばかりでした。食堂はビュッフェスタイルで、カフェとしても利用できます。

ポッシュ株式会社

ポッシュ株式会社は、ロバート・ポッシュという方が設立したドイツの会社で、日本に来たのは128年前のことです。電動工具、ヘッドライト、ブレーキやエンジンなど車の部品を作っていて、日本の車にも多く使われています。



ポッシュ株式会社は、ロバート・ポッシュという方が設立したドイツの会社で、日本に来たのは128年前のことです。電動工具、ヘッドライト、ブレーキやエンジンなど車の部品を作っていて、日本の車にも多く使われています。

しないように「ESC」の開発もして、シミュレーション体験させてもらいました。これがあることで、今までよりも事故を防ぐことができるそうです。

見学のあとは、社員食堂で昼食をごちそうになりました。食堂の食材は、地域の活性化や、環境にやさしい「地産地消」のため、都筑の野菜を積極的に使っているそうです。とてもおいしかったです。(2014.7.21取材)

デュフラインランド
ジャパン株式会社

北山田にあるTUVはT(技術)U(検査・監視)V(協会)の略で、これから世の中に出ていく新製品を検査する会社です。ドイツでは車検の事を「テュフする」というほど知られています。

TUVは製品を認証する重要な役割をはたしています。ブラジルのFIFAワールドカップで使用されたスタジアムや応援ジャージもTUVが検査したものがあつたそうです。世界のソーラーパネルのうち7割も検査しています。



建物の中に入ると、青いくま、ユニテッドパティベアが歓迎してくれました。そこには各国の社員の方々のメッセージが、世界中の言葉で書いてありました。TUVは今年で設立147年目を迎え、世界65か国で約2万人もの社員の方々が働いています。

今回の取材で、都筑区に私たちの生活に深く関わっている大切な試験をしている会社が身近にあることを知りました。

建物の外には、歴史的に有名な「ベルリンの壁」が展示されています。1961年に築かれ、20年以上たつて崩壊したドイツのベルリンの壁の一部を身近に見ることができます。ぜひ近くでみてくださいね。(2014.7.21取材)

アグリ王

新横浜にある、アグリ王ではLEDを使った植物生産機器の販売、リースを行っています。



ショールームとしての植物工場もあり、実際にビルの室内で太陽の光を当てず、LEDで野菜を育てていました。土を使わずスポンジを用いた水耕栽培で育てていることも大きな特徴です。そこで採れた野菜(レタス、ルッコラ、スイスチャード)と食べられるお花(なでしこなど)を試食させていただきました。レタスは、苦みがなくシャキシャキしていて、お花はほのかに香りがしました。

LEDを使って屋内で育てる利点としては、台風などの天候に左右されず一年中、見た目が良いきれいな野菜を育てることができること、虫が入れないため農薬を使う必要がないこと、少ない面積でたくさん野菜を育てることができること、都会の中のレストランのそばに工場があれば運搬するエネルギーが節約できることなど。土や太陽がなくても野菜を育てられるLED植物工場には、驚くことがたくさんありました。(2014.8.18取材)

ホテルアトラス

都筑区にひとつしかないビジネスホテルアトラスは、センター南の北部病院の近くにあります。1年で2万人を超える利用者があるそうです。アトラスとは、ギリシャ神話の「大地を司る神アトラス」から付けられました。「お客様の、財産と生命をお預かりする」ことを一番に考えてお仕事をされているそうです。シングル、ツイン、ダブルルーム、それから長期滞在のための、ミニキッチンや棚などがあるお部屋もあり、どのお部屋もきれいにお掃除されていて、清潔に整っていました。



ジュニア記者がベッドメイクの体験をさせていただきました。シーツがとても大きく、きれいに折り目を見せないように、しわにならないよう、きれいにベッドメイクするのはとても難しく思った以上に体力が必要でした。お掃除が終わった印として、客室には折り紙の鶴が置いてあるそうです。折り紙の鶴は外国人の方にも人気で、記念に持って帰る方も多いそうです。(2014.8.26取材)

第一フォーム株式会社

発砲スチロールでできているものといったら、何を想像しますか？都筑区にある第一フォーム株式会社では、熱線を使用したり、「3Dスキャナー」を使用したりして、発砲スチロールで店頭のディスプレイなどを製作しています。つくりたい形をコンピュータに指定すれば、あとは機械が自動で熱線を動かして、製品が完成するしくみです。1つの機械に熱線が1本だけな

く数本ついているものもあり、より複雑な形を作ることができます。3Dスキャナーでは、マネキンのようなものをつくることもできますが機械は1億円ほどします。



そんなに重くないだろうと加工前の発砲スチロールを持ってみたら、想像以上に重量感がありました。発砲スチロールは燃やすととても大きなエネルギーが発生するので、そのエネルギーを処理場でボイラーを動かすのにも使用しているそうです。もしかしたら、みなさんの身近なお店のディスプレイは、第一フォームが作っているものかもしれません。(2014.8.25取材)

モザイクモール港北・都筑阪急

都筑のランドマークともいえる観光車からは、晴れた日には富士山も見えます。カゴは全部で32あり、1と17は車イスのまま乗れるように少し大きめにつくられています。「モザイク」という名前は、小さなお店がたくさん集まって大きな輝きを発したいという願いからつけられ、その名の通り現在百貨店とともに専門店が約180あります。



買いものだけでなく「思い出」をつくらせてもらえたら、イベントもたくさん行っています。環境にも配慮して、独自に掘った井戸からく

み上げ、ろ過した地下水が、館内のさまざまな場所で使われています。大型ショッピングセンターでありながら、ほとんどゴミをだしていないというので驚きです。地下1階にあるリサイクルセンターでは徹底的にゴミを分別し、できる限りリサイクルしています。また、ショッピングの合間にくつろげるよう、館全体で300席以上のレストスペースがあるそうです。「モザイクモール港北・都筑阪急」は、環境にもお客さんにも優しいショッピングセンターでした。(2014.9.11取材)

DNPテクノバック
横浜工場

都筑区池辺町に東京ドーム1個分の大きさがあるDNPテクノバック横浜工場があります。そこは私たちの身近にあるお菓子や牛乳パックなどの印刷工場でした。



「印刷」という概念はなんと1200年前からあったそうで、日本最古の印刷物は770年ごろのお経が書かれたもの。法隆寺に残っています。金属を使った印刷機の技術は明治時代に日本に入ってきました。印刷は、文化と情報を伝える大切なものです。

素肌が出ないような作業服を来て、さらにエアシャワーを通り工場に入りました。食品関係の工場のように、異物が入らないように気を付けていることに驚きました。印刷は直径が140センチほどあるとても大きなロールに、赤、青、黄色、黒の4色を乗せて印刷します。一色がすぐに乾き、次の色をのせられるように、約100度の熱

風を吹きかけます。印刷が終わると印刷された紙の余分な部分を切り取る「打ち抜き」、打ち抜いた紙を折り目によって組み立てる「製函」と続き、箱詰めをして完成です。印刷の工程はほぼすべて機械が行います。それでも600人の社員さんが働いているのは、最後には人間のチェックが必要なんだなと思いました。(2014.10.16取材)

亀屋万年堂

東京都目黒区自由が丘に本店がある亀屋万年堂。でも実はナボナなどのお菓子は都筑区折本町の工場で作られています。ナボナは一日に10万~15万個の数が作られています。特徴は、和菓子の感覚を活かしたどら焼き風の形状と、ソフトカステラの軽い口溶けのふわとした食感です。生地のきめ細かさを保つために工場の温度調節、粉糖の量など細かいところまで気を配り、製造しています。工場の20メートルもあるオープン



工場では衛生管理を徹底しています。工場に入るには、帽子と白衣と白い靴を身につけ、洗面所でマスクをしてブラシを使っての手洗したあと、粘着ローラーをかけ、エアシャワー室でさらにクリーンにします。工場に入る従業員がケガをした場合、絆創膏は青色を使用するなどして、商品に異物が入った場合に、すぐに気がつくようにするなど、安全・安心・おいしい！が徹底されていました。(2014.10.18取材)

おうちCO-OPの配達について取材しました!!



おうちCO-OPでは、一軒からお届けする個人宅配の利用者が90%、グループで利用される方が10%です。今回は、グループ宅配について取材しました！

旬の野菜が詰まったグリーンボックスをいつも買う方や、子どもが大好きな焼きそばやカレー、ビールやお米など重たいものを注文する方、みなさんがそれぞれの暮らしに合わせて、おうちCO-OPを利用されていました。グループで注文すると配達料が無料になるので、お得なんです。この日もおうちCO-OPの担当の方の手から、ひとつひとつ大切にみなさんに品物を手渡していました。渋滞などでトラックが遅れるときにはメールでお知らせ

するのだそうです。次に緑区に新しくできたばかりのおうちCO-OP横浜北部配送センターを取材しました。とても大きな建物で、ここには約200人が働いていて、トラック100台が配達で活躍しています。運転手さんは、だいたい1人1日60軒くらいに配達するそうです。一番に安全運転を心がけています。トラックはびっくりするほどきれいに掃除されていました。トラックの助手席に座り、記念写真を撮らせてもらいました。楽しい取材でした。



おうちCO-OPでは、一軒からお届けする個人宅配の利用者が90%、グループで利用される方が10%です。今回は、グループ宅配について取材しました！

あなたにまっすぐ。おうちCO-OP 生協の宅配 ユーコース

スマートフォンのラクラク注文

子どもと一緒に買い物！商品カタログを見ながらタブレットで注文して、タッチするだけでどっでも簡単！毎週子どもと一緒に商品を選ぶのが楽しみです。

0120-123-581 おうちコープ 検索

月~金/9:00~20:00 土/9:00~17:00 http://www.ouchi.coop

ハウスクエア横浜 Housquare Yokohama

最新モデルハウスと住関連ショールームが夢の住まいを応援

224-001 神奈川県横浜市都筑区中川1丁目4-1 地下鉄ブルーライン中川駅下車徒歩2分 ☎045-912-4110

体験 相談 情報

●新築/リフォーム相談会 ●住まいのセミナー

全てが集まる「多機能住宅展示場」